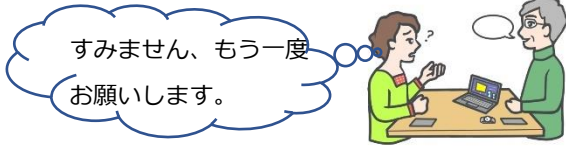




● JOPT 実施中の対応 -TIPS:Q & A-

<p>Q1：質問が聞き取れず、「もう一度お願いします」と受験者から頼まれた場合、どうしたらいいですか。</p>	<p>A1：まず、同じ速さで質問を繰り返します。それでもわからなかったら、ややゆっくりと質問します。まだわからない場合は、「理解できない」と判定します。</p> 
<p>Q2：質問が理解できない場合、やさしい表現に言い換えてもいいですか。</p>	<p>A2：「やさしい」日本語で言い換えてください。2度程度言い換えてもわからない場合は、そのまま先に進めてください。</p>
<p>Q3：受験者が質問が分からなくて沈黙したり、当惑したりした場合はどうしますか。</p>	<p>A3：質問をもう一度繰り返してください。それでもわからなければ、次の質問に進んでください。笑顔で対応することが大切です。</p>
<p>Q4：受験者の発話が途中で止まってしまった場合は、「助け船」を出してもいいですか。</p>	<p>A4：「助け船」は出さないでください。発話が途中で止まってしまった場合は、発話能力の限界にいると考え、評価の対象にしてください。</p>
<p>Q5：受験者が応答できずに、沈黙してしまっただけの場合どう対応したらいいですか。</p>	<p>A5：しばらく待っても応答できない場合は、「では、次にいきますね」と伝え、その問題は終わりにします。それに関しては発話能力の限界と考え、評価の対象にしてください。</p> 
<p>Q6：受験者が日本語で応答できず、母語あるいは英語で発話したときは、どのように評価したらいいですか。</p>	<p>A6：途中で、「すみません、日本語で話してください」と伝えます。評価に関しては、日本語で話した部分で評価してください。</p>
<p>Q7：受験者が質問の意図を誤解して、異なる（期待した応答では</p>	<p>A7：試験ですので、出てきた発話をもとに評価してください。</p>

<p>ない) 発話をしたときはどのように評価したらいいですか。</p>	
<p>Q8: 受験者が質問に対する発話を、想定外にたくさん話したり、ゆっくり話してしまったために、15分以上の時間がかかってしまった場合は、どのように評価したらいいですか。</p>	<p>A8: 5分程度長くなるのはかまいません。ただ、長く話しがちな受験者の場合、「そうですね、わかりました」などと言って、自然な形で切り上げてください。なお、長く話しても点数には反映されません。</p>
<p>Q9: RPをスタートしたけど、内容を理解していないため、話の展開が意図しているものと異なる方向へ進んでしまった場合、どうしたらいいですか</p>	<p>A9: RPに限らず、設問の意図を勘違いしている場合は、そのタスクに関しては、ゼロ点となります。</p>
<p>Q10: 受験者の声が小さく、「もう少し大きい声で言ってください」と言っても改善されないとき、どうしたらいいですか (例: 回答の最初の部分だけ大きく、あとは同じように小さくて聞こえない)。</p>	<p>A10: 聞き取れない場合は、「聞き取れないので大きな声で話してください」を繰り返し、注意を喚起してください。</p> 
<p>Q11: 受験者がかなり緊張している場合、どう対応したらいいですか。</p>	<p>A11: 「リラックスしてください」「深呼吸してリラックスしましょう」などと緊張をほぐしてください。</p>
<p>Q12: 受験者が途中で受験を諦めてしまった場合、どうしたらいいですか。</p>	<p>A12: 受験者が諦めた場合には、評価は行いません。途中の問題を「無理です。できません」と表明した場合には、「そうですね。では次の問題にいきましょう」と進めてください。</p>
<p>Q13: 収録したはずの音声収録できていなかった場合は、どう評価したらいいですか。</p>	<p>A13: 収録した音声を聞いて判定をするのが基本ですが、収録した音声がない場合には、発話を思い出して評価をしてください。あるいは、必要に応じて、再度テストを実施してください。</p>